

算数科（4年）シラバス

☆ 教科の目標

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

☆ 第4学年の到達目標

除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにします。また、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにします。

面積の意味について理解し、簡単な平面図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの意味について理解できるようにします。

図形を構成する要素に着目して、基本的な図形についての理解を深めることができるようにします。

数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりすることができるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにします。

☆ 学習の予定（全150時間）

月	学習すること
4	大きな数（億・兆） 円と球（円の中心・半径・直径・作図）
5	わり算（筆算）
6	1けたでわるわり算(余りあり)
7	しりょうの整理 角（分度器の使い方・三角定規の角）
9	三角形（二等辺三角形・正三角形）
10	2けたでわるわり算(余りあり)
11	面積（長方形・正方形） 小数
12	がい数（四捨五入・切り上げ・切り捨て）
1	折れ線グラフ 式と計算
2	分数 ともなう変わる量
3	4年生のまとめ

☆ 評価について

算数科では、次の4つの観点で評価します。

① 算数への関心・意欲・態度

「知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり、筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生かそうとする。」→授業での様子、発表、提出物、ノート等

② 数学的な考え方

「算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。」→単元テスト、授業での様子、発表、ノート等

③ 数量や図形についての表現・処理

「整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量関係などを表したり調べたりする。」→単元テスト、小テスト等

④ 数量や図形についての知識・理解

「数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。」→単元テスト等

